

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県 (都道府県: 秋田県)
本事業の担当部局名 あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー		
個別事業名	「まずは出会いから」応援事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ～ 令和6年3月31日	事業開始年度	令和4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	3,300,000 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 秋田県は、若年層の県外流出による社会減の進行のほか、独身者の意識変化及びライフスタイルの多様化等による未婚・晩婚・晩産化の進行が影響し、婚姻件数と出生数は、年々減少しており、人口の自然減に歯止めがかからない状況である。 このような中、県人口の自然減を抑制するためには、結婚・子育てに希望がもてるよう、小学生から社会人までの各年代でライフプランを学び考える機会を充実させながら、これまで以上に家庭や職場、地域全体で結婚・子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、あきた結婚支援センター(以下「センター」という)を本県の結婚支援の中心に位置付けながら、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の拡充を図る必要がある。 秋田県では、県政運営指針「新秋田元気創造プラン(2022～2025年度)」において、県民誰もが将来にわたって生き生きと暮らせる地域社会をつくるため、「未来創造・地域社会戦略」を掲げ、次の6つの「目指す姿」に向けて取り組んでいる。 目指す姿(1): 新たな人の流れの創出 目指す姿(2): 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現 目指す姿(3): 女性・若者が活躍できる社会の実現 目指す姿(4): 変革する時代に対応した地域社会の構築 目指す姿(5): 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成 目指す姿(6): 行政サービスの向上 <本個別事業の位置付け> 「目指す姿(2): 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現」を叶えるべく、次の4つの方向性に基づいて少子化対策に取り組むこととしている。 方向性①: 結婚・出産・子育てを前向きに捉える機運の醸成 方向性②: 出会い・結婚への支援 方向性③: 安心して出産できる環境づくり 方向性④: 安心して子育てできる体制の充実 本事業は、方向性②: 出会い・結婚の支援に位置づけられるものであり、本事業によって、結婚を希望する独身者に対し出会いの機会を創出することを目的としている。		
	(本個別事業における現状と課題) 課題1. 新型コロナウイルス感染症の影響による出会いの機会の減少 ・秋田県では、コロナ禍になって以降、対面での出会いイベント開催件数が年々減少している。 ・コロナ禍以前は自然な出会いの場となっていた大規模イベントや祭りが、新しい生活様式に対応して開催されるようになった結果、参加者は初対面の方との接触を控える傾向があり、以前のような出会いの場ではなくなってきている。 課題2. これまでの出会いイベントは婚活色が強すぎる ・一般に行われている婚活イベントは、結婚を強く望む方々の出会いの場であり、気軽な気持ちで参加できる出会いの場を求める声がある。 課題3. 女性の参加者が集まらない ・R4事業のイベントにおいては、男性からは毎回定員以上の参加申込があり、参加者を抽選で選出しているが、一方で女性からの参加申込は少なく、男女間の人数の偏りを軽減するために男性の参加者数を調整せざるを得ない状況が続いている。		
	(課題への対応) 課題1. への対応 ・県が先頭になって出会いイベントを開催することで、減少した出会いの機会の回復を図る。 課題2. への対応 ・著名なゲストの招致及び趣味・体験型コンテンツをテーマとして取り入れることにより、婚活色を薄め、気軽に参加できる出会いの機会を創出する。 ・個人だけでなく、複数人での参加申込を可能とすることで、1人では出会いの場に行きにくいと思っている独身者もイベントに参加しやすくなる。 課題3. への対応 ・R4事業において行ったイベント参加者に対するアンケートの結果を元にニーズを分析し、結婚を希望する独身女性が参加しやすい内容のイベントを開催する。		

	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
個別事業の内容 ※(注)3	1	「まずは出会いから」応援事業	※用語説明 ・結婚サポーター(以下「サポーター」という。) …地域の結婚相談役として県に登録し、結婚を希望しているがサポートを必要とする方に、お世話やアドバイス等をするボランティア活動員のこと。 【取組内容】 ・R4事業のアンケートにおいて、「<u>大人数ではなく、参加者同士がじっくり交流できるイベント</u>」を望む声があったため、気軽に参加できる出会いの場として、規模等が異なる2種の出会いイベントを県が主催する。 ①出会いフェス型イベント(3回開催、参加者数各回60人(男女各30人)計180人) 多彩なゲストを招き、ゲームやクイズ等の催しを通して、参加者が互いに交流を深める。 〈ゲストの例〉音楽バンド、お笑い芸人、マジシャン、あきた舞妓等 ②趣味型イベント(3回開催、参加者数各40人(男女各20人)計120人) 1つのテーマに沿った講師を招いて趣味の体験教室等を開催し、共通の趣味を通じて交流を深める。 〈趣味の例〉・料理、コーヒー、アロマ等の各種教室 ・キャンプ、バーベキュー、果物狩り等の体験型コンテンツ ・R4事業のアンケートで、友人同士等でのイベント参加に肯定的な女性は68.9%で、「1人よりも緊張しない」「参加のハードルが低くなる」等の意見が寄せられたため、1人での参加以外にも、2～3人のグループでの参加を受け付ける。 ・結婚の希望をかなえる上での独身者のニーズや意識の変容を把握し、また、次年度以降のステップアップに結びつけるため、参加者を対象としたアンケートを行う。 ・本業務は、委託により実施する。 ・飲食費や体験料等の参加者に還元する費用については、参加者からの費用徴収により充当し、当計画には含まないものとする。 【本事業と有機的な連携を行う取組】 1. 参加者全員に、あきた結婚支援センター(以下「センター」という。)への会員登録を案内し、登録を促進する。 2. 参加者全員に対し、「センター」が行っている出会いイベント情報等を案内するLINEやメルマガへの登録を案内し、出会いイベントへの継続的な参加を促す。 3. 本事業終了時に、参加者から恋愛や結婚に関する相談があった場合、近隣で活動している「サポーター」を紹介する。 4. 参加者全員に対し、婚活スキル向上事業において実施するセミナー・交流イベントへの参加を促し、単発のイベント参加で終わらず、本格的に婚活を始める流れを作る。 【事業の実施にあたっての留意点】 本事業の実施に当たっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。	○	○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和6年度以降も、結婚を希望する独身者のニーズを把握し、異性との出会いの機会の増加に努めるほか、参加者が当事業をきっかけに本格的に婚活に取り組めるような支援を行う。				
	【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 富山県氷見市 縁結び推進事業				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4		KPI項目	単位	目標値	現状値
		合計特殊出生率	%	(R5)	1.22 (R3)
参考指標 ※(注)5		項目	単位	直近の実績	
		合計特殊出生率	%	1.22 (R3)	
		婚姻件数	件	2,618 (R3)	
		婚姻率	%	2.8 (R3)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6		KPI項目	単位	目標値	現状値
		イベントの参加者数	人	300	170 (R4)
		イベント募集の定員に対する参加者数の割合	%	100	47.2 (R4)
		出会いイベントの参加を友人等に勧めたいと思った参加者の割合	%	75	71.8 (R4)
		結婚に対する活動に前向きになった者の割合	%	80	74.7 (R4)
		引き合わせ成立者数	人	90	84 (R4)
		センターが発信する出会いイベント情報等のLINE及びメルマガ会員の新規登録者数	人	150	133 (R4)
		イベントに参加して満足だと回答した参加者の割合	%	60	-
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7		・本個別事業の実施について、各市町村HPや広報紙への掲載など、市町村と連携して一層の周知に努める。 ・市町村結婚支援担当者会議を開催し、情報共有を図るとともに県と市町村の連携を強化する。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8		「あきた結婚支援センターの会員団体」及び「すこやかあきた出会い応援隊」への登録を促すとともに、「結婚サポーター」との協力を得ながら、官民共同で結婚を支援する活動を広めていく。			